

8. 中国統計資料の収集

情報公開の波が中国政府当局にも、ひたひたと及んでおり、鮮度の高い経済統計資料を入手するのは、そんなに難しいことではなくなった。企業経営情報・商品市場情報にかかわる特別なものでなく、マクロ経済にかかわる基本データなら、ストックとしての統計年鑑類とフローの情報としてのインターネット情報を駆使すれば、取り揃えることが可能である。以下では、日本語で手軽に入手する方法と、さらに進んで専門的に中国語で中国政府当局から原データを入手する方法とに分けて、解説することしよう。

① 日本語で探す中国統計データ源

日本語だけでも、かなりの程度、最新の中国经济データを得ることができる。基礎データ集としては各種あるが、21世紀中国総研編『中国情報ハンドブック』各年版（蒼蒼社刊）を第一にお勧めしたい。毎年夏に前年のデータを整理して刊行され、スピーディで信頼が置け、定番書となっている。毎年のトピックスも読み応えかがあって、データを読む視角を与えてくれている。

ジェットロの『中国データ・ファイル』（隔年刊）、日中経済協会の『日中経済データハンドブック』（年刊）、日本国際貿易促進協会の『日中貿易必携』（年刊）もロングランのデータ集で定評がある。使い勝手のいいものを手許に置くといい。

月刊雑誌で利用しがいがあるのは、日中経済協会『日中経協ジャーナル』とジェットロの『日中経済』である。前者は月毎の新データを巻末に簡潔な表にまとめ、後者は日中貿易などの資料も含めて相当のページ数を割いて重要資料を紹介している。

ウェブサイトでも、日中経済協会とジェットロのサイトが図抜けている。日中経済協会の「各種データ／情報」（http://www.jc-web.or.jp/data/e_data/general/index.htm）には、「中国、日中の主要経済指標」貿易統計、投資統計、「統計公報」などが掲載されている。これに日中投資促進機構サイト（<http://www.jcipo.org>）の投資統計（「主要地域への世界と日本の投資」など）を併用すれば、さらに深みが増すであろう。

ジェットロでは、「海外情報ファイル」（<http://www3.jetro.go.jp>）が出色である。各国・地域データの中から中国の基礎的経済データを検索し、さらに主要データを各国・地域別に比較することができる。ジェットロが日中間のドルベースの貿易統計数字を算出してくれているのは、言うまでもない。

中国经济の最新データをフォローするとともに、そのデータを如何に読むかの手ほどきをしてくれているのが、在中国日本大使館のホームページ中の「中国经济の窓」である。第一には「中国经济週報」で、毎週の発表指標をまとめている。第二には、「マクロ経済動向」で、省別経済概況、中国经济の国際比較のほか、「最新の中国マクロ経済動向」「最新の中国经济情勢と日中経済関係」など本格的経済分析が掲載さ

中华人民共和国国家统计局
National Bureau of Statistics of China

2004年1-12月 工业增加值

地区	1997年	2000年	2003年	4季度
国内生产总值	100000	100000	100000	100000
规模以上工业企业增加值	100000	100000	100000	100000
国有及国有控股企业增加值	100000	100000	100000	100000
集体企业增加值	100000	100000	100000	100000
股份制企业增加值	100000	100000	100000	100000
外商投资企业增加值	100000	100000	100000	100000
港澳台商投资企业增加值	100000	100000	100000	100000
其他经济类型企业增加值	100000	100000	100000	100000
规模以上工业企业增加值	100000	100000	100000	100000
国有及国有控股企业增加值	100000	100000	100000	100000
集体企业增加值	100000	100000	100000	100000
股份制企业增加值	100000	100000	100000	100000
外商投资企业增加值	100000	100000	100000	100000
港澳台商投资企业增加值	100000	100000	100000	100000
其他经济类型企业增加值	100000	100000	100000	100000

国家統計局の月報、四季報検索サイト <http://www.stats.gov.cn/tjsj/index.htm>

れている。いずれも大使館の経済担当専門官が書いたもので、レベルが高く、信頼性があり、初心者でも専門家でも利用しがいがある。

② 中国語で探す中国統計データ源

① 全国統計資料

中国の統計数字は『中国統計年鑑』（中国語、中国統計出版社刊）発表のものが正式数値である。『中国統計年鑑』は1982年版から発行されており、〇〇年版は、その前年の統計数字を所収して、〇〇年の秋に刊行される。1994年版からは中国語版に英語が併記され、1998年版からはCD-ROMがつくようになった。

『中国統計年鑑』がカバーしている分野は、(a) 行政区画と自然資源、(b) 総合、(c) 国民経済、(d) 人口、(e) 就業者と職員労働者賃金、(f) 固定資産投資、(g) エネルギー、(h) 財政、(i) 物価、(j) 人民生活、(k) 都市概況、(l) 農業、(m) 工業、(n) 建築業、(o) 運輸・郵電、(p) 流通、(q) 対外貿易、(r) 観光、(s) 金融・保険、(t) 教育・科技・文化、(u) 体育・衛生・社会福祉、(v) 香港特別行政区など幅広い。『中国統計年鑑』の時間的遅れを補うものは、同書のダイジェスト速報版の『中国統計摘要』である。ハンディな本で重要指標を収め、毎年5月頃に出版される。それ以前に前年の主要統計数字が「国民経済社会发展統計公報」として公表される。

毎年、春の全国人民代表大会開催の前後のことである。月毎の主要経済指標では、『中国経済景気月報』がある。

中国政府機構のホームページが整備されるにつれて、統計資料もインターネットを通じて入手可能になった。中国国家統計局の「中国統計信息网」(<http://www.stats.gov.cn>) にアクセスすれば、中国統計事情を一覧できる。最新の月次の物価、工業生産、固定資産投資などの景気指標、年度別の統計公報があり、さまざまな統計分析があり、さらに統計公報、人口センサス、旧版『統計年鑑』など大型資料がストックされている。中国の統計関連サイトへリンクから各地統計局、国家機関の統計庫にアクセスすれば、専門的な統計を求められるであろう。また、統計新聞『中国情報報』(<http://www.zgxxb.com.cn>) を読めば各種各分野の詳細を得ることができる。

②地方統計資料

中国の各地域の統計は、各地域の『統計年鑑』がある。省レベルのものは全30省市自治区の統計年鑑が出ている。横並びに比較可能な数字を簡便に得るには『中国経済年鑑』の各年版がよい。都市レベルのものは重要都市について『深圳統計年鑑』『蘇州統計年鑑』といった類の年鑑があるが、都市相互の比較については『中国城市〔都市〕統計年鑑』という優れた統計書がある。

統計年鑑の類の数字の時間的な遅れをカバーするには地方の統計公報を参照する必要がある。中国国家統計局のリンクから省レベルの統計公報を開けば、「統計公報」をはじめとする諸指標を得ることができる。最新の公報は「地方年度統計公報」にまとめられている。また、各地の2000年人口センサスの公報もここで見られる。

一方、都市レベルの主要統計は、各都市政府のホームページにアクセスしてこまめに探すしかないが、根気ひとつで主要指標は得られる。ただし、コンテンツ管理の善し悪しにバラツキがあり、横並びに比較するには難がある。

③専門分野統計資料

中国統計出版社が出版しているものに、『中国人口統計年鑑』『中国農村統計年鑑』『中国工業経済統計年鑑』（隔年刊）、『中国固定資産投資統計資料』、『中国市場統計年鑑』、『中国物価及城鎮居民家庭収支調査統計年鑑』、『中国農村住戸調査年鑑』の専門統計年鑑がある。中国統計出版社以外からも専門的な統計書が出されている。例えば、『中国対外経済貿易年鑑』『中国対外経済統計年鑑』は中国対外貿易経済合作部が編集しており、対外貿易および外資導入については、最も信頼性がある。速報値は商業部（旧中国対外貿易経済合作部）の月刊雑誌『国際貿易』および同部の新聞『国際商報』によって得られる。また通関統計は海関総署の『海関統計』（月刊）が最も詳しい。同様に各所轄官庁の縄張りのもとにある専門的統計書に『中国環境年鑑』『中国金融年鑑』『中国汽車工業年鑑』などの年鑑類、『中国農業発展報告』『中国工業発展報告』『中国農業発展報告』といった白書の類がある。

四半期毎のデータは報道ベースで発表されるのをフォローするしかない。ストックとしての四半期別データは『中国人民銀行統計季報』が利用しがいがある。

年鑑の類では得られない、速報値を得るにはインターネットが断然便利である。各



国家統計局の年報検索サイト <http://www.stats.gov.cn/tjsj/ndsj/index.htm>



国家統計局の国勢調査検索サイト <http://www.stats.gov.cn/tjsj/pcsj/index.htm>

官庁のホームページを開けば、必ず「統計」の項目がある。例えば、さきの商業部のホームページの「中国投資指南」の「外貿統計」には月次の貿易、外資導入のデータが掲載されている (<http://www.fdi.gov.cn/main/index.htm>)。

④香港・台湾の統計資料

香港、台湾ともに統計はよく整備されていて、年鑑類が充実しているが、手軽に利用できるのは以下の Web サイトである。

「香港統計数字一覧」……<http://info.gov.hk/censtatd/chinese/hkinf/hkinf.htm>

台湾の統計「行政院主計処」……<http://dgbasey.gov.tw/>

台湾と中国大陸、香港との関係「两岸经贸關係統計」……http://mac.gov.tw/statistic/ass_em/welcome.html

(中村公省／21世紀中国総研事務局長)